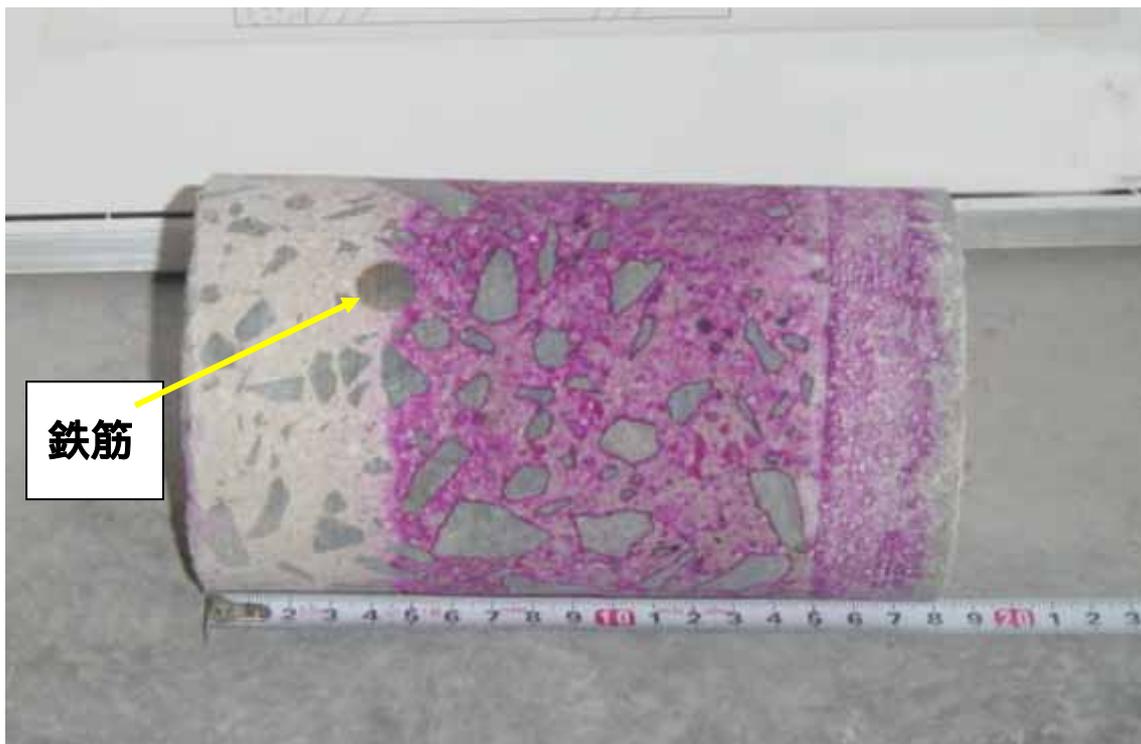


コンクリートの中酸化現象

右側の紫に見える部分は本来のコンクリートの姿ですが、左側の白い所は年月を経て中性化した所です。中性化すると中の鉄筋はやがて錆びて膨張し、コンクリートのひび割れの原因になり、崩落事故などにつながります（フェノールフタレイン試薬処理）。



コンクリートの主成分であるセメントはアルカリ性であるが、二酸化炭素の作用を受けると中性になる。中性化（Carbonation）してもコンクリート自体の強度は低下しないが、中にある鋼材は腐食が進み、耐力が低下していくことになる。